

授業科目名	看護政策			担当教員	倉岡 有美子	
開講年次	4年後期	セメスター	6	時間数(単位数)	15 (1)	
必修選択	選択	授業形態	講義	使用教室		
授業の目的	看護行政・政策の概要を理解し、国民によりよい看護サービスを提供するための仕組みについて理解する。					
到達目標	1. 政策に関する基本概念をふまえたうえで、医療や看護に関する政策はどのように決定されるのか、例を挙げて説明できる。 2. 現在の日本における保健医療福祉行政の課題を批判的に吟味し、解決のための方法（これからの自分の行動を含む）を具体的に提案することができる。 3. 政策決定において看護職として意見を反映させる方法を述べることができる。					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	本科目は、看護の統合科目として位置づけられている。 これまでに学習してきた講義、演習、実習を統合してふりかえりながら、看護との政策の関係に目を向け、看護に関する考え方を発展させることができる科目である。学生が、将来、政策決定において看護職として意見を反映させることができるようになるために、看護の専門性を探究する力、政策による問題解決力を培うことを目指す。					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
				◎	○	
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	看護における政策過程：よりよい看護の提供と看護制度・政策の関係	講義	予習：テキスト第1章第2章を 読んでくる。	60分	倉岡	
2	厚生労働省における看護技官の活動	講義	予習：テキスト第3章第4章、コラム p68 を読んでくる。	60分	田村 倉岡	
3	診療報酬改定への看護職の関与	講義	予習：テキスト第3章第4章、コラム p110～111 を読んでくる。	60分	倉岡	
4	日本看護協会、日本看護連盟と看護政策	講義	予習：テキスト第3章第4章、コラム p46、48、65、75 を読んでくる。	60分	倉岡	
5	政策提言コンペティションの準備① (個人での文献検討とグループ形成)	GW	予習：教員が提示したテーマから1つ選び、関連する文献を調べる。	60分	倉岡	

6	政策提言コンペティションの準備② (グループでの検討)	GW	復習：グループで検討した政策を洗練させる。	60分	倉岡
7	政策提言コンペティションの準備③ (グループで発表資料作成)	GW	復習：発表資料の作成	60分	倉岡
8	政策提言コンペティション 定期試験へのフィードバック	講義 (発表・ 討議)	予習：発表資料の作成	60分	倉岡
先行履修 科目					
テキスト	見藤隆子他著：看護職者のための政策過程入門第2版。日本看護協会出版会，2017。				
参考文献	日本看護協会出版会編：日本看護協会の政策提言活動。日本看護協会出版会，2010。 田村やよび著：私たちの拠りどころ 保健師助産師看護師法第2版。日本看護協会出版会，2015。				
評価方法	授業への参加度（20%）、プレゼンテーションの内容（20%）、レポート（60%）で評価する。				
教員等の 実務経験	看護管理者として臨床経験のある教員が、その経験を活かして、政策決定において看護職として意見を反映させるための基礎的知識について講義します。				
メッセージ	学生の皆さんにとって政策は、なじみがうすく、看護とのつながりも分かりにくいかもしれません。しかし、看護師がベッドサイドで提供する看護に、政策は大きく影響しています。対象者によりよい看護を提供したいと考えたときに、今ある制度や政策を変えること（政策的アプローチ）で実現できる可能性も大きくあります。皆さんが、将来、政策的アプローチで看護を変えていけるよう、本科目では看護政策の基礎的知識を学びます。さらに、本科目は社会と看護とのつながりを考えるよい機会にもなります。				